

2月20日に委員長から教育長に「意見書」が提出されました。  
これにより、若葉台地区小・中学校再編検討委員会は解散しました。

1月29日(日) 第7回検討委員会 開催

2月18日(土) 第8回検討委員会 開催

第7回検討委員会において、説明会でのご意見の内容を確認したうえで、意見書は前回の検討委員会で決定した内容のとおりとすることとし、第8回検討委員会において意見書の最終確認をしました。



## 説明会について

若葉台地区にお住まいの方を対象に、検討委員会主催の説明会を開催しました。

### ○日時

1月29日(日) 午前10時～午後1時

### ○内容

- 1 再編検討開始の経緯とこれまでの検討経過の説明 (検討委員会から)
- 2 質疑応答

### ○参加者

保護者88人、地域57人 (うち未就学児保護者11人)



多数のご参加ありがとうございました。

## ～ 再編検討開始の経緯とこれまでの検討経過の説明 ～

### ①若葉台地区小中5校とまちづくりのかかわり

#### 若葉台の建設

若葉台の建設は1丁目から始まり、1979年の春、1丁目1棟から4棟までの人たちが最初に入居しました。若葉台地区の学校は、入居人口に併せて順次建設され、若葉台東小は80年、若葉台東中は81年、若葉台北小は82年、若葉台西小及び若葉台西中は84年に開校しています。このように、若葉台ではまちの建設と学校建設とが一体となって進んできたという意味で、地域は「学校づくりはまちづくり、まちづくりは学校づくり、まちと学校は常に一体である」と捉えています。

#### 新しい学校の開校準備

新しい学校が開校する際には、PTAや学校関係者らによって、通学区域や校名の検討をしますが、若葉台に学校ができるまでの間、若葉台地区の子どもは上川井小学校と都岡中学校に通いました。

当時の中学生は、都岡中学校へはバスで通っていましたが、バスの本数が少なく、ダイヤもよく乱れていたため、集団遅刻する事態がしばしば起きていました。そのため、当時の母親と連合自治会の前身である3自治会連絡協議会がバスの増便運動を開始、これにより、現在の若葉台のバス輸送網の原型ができあがりました。



## 児童・生徒の安全問題

現在、子どもを対象にした悪質で卑劣な犯罪が多発する社会的状況の中で、学校再編にあたっての大きな課題の一つに、地域として子ども達の安全をどう守るかが挙げられます。若葉台ではこれまで、安全面から地域を総点検する「安全パトロール」を20年継続実施しています。また3小学校の通学区域では学校・PTA・自治会・老人クラブ・その他有志ボランティアなどの皆さんのネットワークによって、登下校時にパトロールが実施されています。管理組合では、エレベーターなどへの防犯カメラ設置や新しく設置する検討が始まっています。地域で活動する団体やグループ・サークルの協力とネットワークのもとに、地域住民全体の知恵と力を集約していただき、「安全・安心・明るいまち若葉台」をどう創るかという大きな視野で、様々な角度から考え検討する必要があります。「安全なまち」でなければ、「安全な通学路」など望むべくもありません。その意味で、学校再編は、若葉台のまちづくりの根幹に関わる大きな問題です。様々な世代の方からのご意見をお寄せいただき、理解を深め合いたいと考えます。



## ②小・中学校の現状と再編検討委員会設置に至るまで

### 児童生徒数の減少

若葉台では、10年ほど前にも再編統合の必要性が議論されたことがありましたが、当時は暫く様子を見ることとなりました。しかしながらこの間、更に児童生徒数の減少が進み、教育活動や学校運営の面で様々な課題・限界が出てきたため、数年前から学校が「まちと共に歩む学校づくり懇話会」を通してそれら課題をお伝えし、これまで保護者の皆さんを含めた地域の方々に支えられ教育活動を行って来ました。このような状況の中で、再編統合の適時性が生まれ、ここまで議論が進んできました。

### 規模適正化のメリット

18年4月から、若葉台の3小学校全てが1学年1学級(単学級)になる見込みです。再編統合時は18学級程度となる見込みで、これにより、クラス替えができるため、より多くの友達やグループ関係を作ることができ、自我の形成や自立のための素晴らしい機会となります。また、総合的な学習・特別活動・学校行事等においても、より多くの触れあいの中で共に話し合いながら、個々の目標に向けての活動を行うことができます。また、教職員も増えるため、教育活動の幅が広がります。



### これまで3小学校が実施してきた安全対策

再編検討を行う中で、通学安全について様々なご意見をいただいておりますが、これまで3小学校では、主にPTAで組織される「スクールゾーン対策協議会」において、毎年通学区域内のパトロールを実施しています。また、夏には地域の方々と一緒にパトロールを実施して安全点検を行い、必要に応じて通学路の見直しを行ったり、土木事務所や警察に申し入れるなど、できることから実施しているところです。安全に「絶対」はありませんが、まずは人の目があることが基本です。皆さん一人ひとりが登下校時に少しでも外に出るなどして、子どもを見守っていただければ幸いです。今後も引き続き皆さんと安全の確保を図っていきたいと考えています。

### 再編検討に向けたPTAの動き

若葉台の5校PTA連絡協議会は年に2、3回開催されていますが、そこでも数年前から再編検討が話題にのぼっていました。具体的に動き出したのが、平成16年の12月の保護者アンケートで、90%以上の保護者が再編統合に賛成であることが明らかとなりました。アンケートの中には、単学級に関する不安や先生の負担の大きさに関する不安、中学における部活動の減少に関する声のほか、再編検討を行うにあたり、通学安全面は丁寧に積極的に検討をしてほしいというような意見がありました。これらを踏まえ、5校PTAから地域に対し再編検討への協力を申し入れ、17年5月に検討委員会が設置され、これまで地域・学校・保護者で具体的に検討してきたところです。

## ③検討委員会での検討経過及び設置場所について

これまでニュースでお知らせしている内容ですので説明は割愛します。

～ 主なご意見・ご質問 ～

13人の方から主に次の趣旨のご意見をいただきました。

通学安全に関すること

意見	これから就学する子どもを持つ親として通学安全について大変不安。未就学児の保護者の意見にもっと耳を傾けてほしい。
	検討委員会では、若葉台に住むすべての児童生徒の安全面を配慮して、最も多くの児童が通学距離が短い北小がふさわしいと判断されたのだと思う。
	通学安全の確保に向けてはまず親が、そして地域全体としてどのようなことができるか考えるべき。子どものために月1回でも休み、保護者が当番制で子どもを送るなどできないだろうか。
質問	ニュースでは検討状況や具体的な改善策が見えない。不安なので教えてください。
	通学安全を検討する場に未就学児の保護者も参加できないか。
お答え	ニュース6号にも掲載されているとおり、検討委員会では通学路案を各小学校PTAで作成したうえで現地確認をし、木の剪定、外灯の改善の必要性を確認しています。今後、この通学路案を基に、より具体的な要望をあげていくこととなるので、具体的な案があれば自治会や学校、PTAに教えていただきたい。また、現在、学校を中心に子ども達の目線での通学路の安全確認を行っているので、ご意見を言っただけのよう、マップを配布することを検討します。なお、地域では登下校時の見守りを行っており、今後も最大限協力していきたいと思えます。

その他ご質問・ご意見

意見	説明を聞いて検討委員会では長い時間をかけて丁寧に決めてくださったのだと思った。検討委員会で決めたことに賛成。
	統合には賛成だが、検討経過の情報が不十分。自治会や学校単位で会合を開くなど、委員の方から積極的に意見集約機会を作してほしい。
	学校の再編について地域の方々にこれだけご尽力いただいているので、今後、地域に住む者として学校の事以外にも目を向けなければならないと思った。
	今後跡利用の検討委員会を設置する際には、管理組合を検討の場に参加させることも選択肢として持っていてほしい。
質問	教育委員会のホームページにはニュースしか載っていない。また意見をEメールで送ったが回答がない。自治会からも回答はいただいている。説明してください。
お答え	検討委員会では寄せられた意見は個人情報消したうえで原文をお示しし、どのように取り扱うか審議いただいています。意見・質問の取扱いについては、既にニュース等でお知らせ済みのものは個別の回答はしないが、再編検討に関する主な意見の内容はニュースに掲載するものとししました。その他、質問をいただいた場合で、連絡先が分かる方については回答しています。
質問	再編統合した場合、成績評価の仕方をどう進めるのか教えてほしい。
お答え	統合した場合に備え、統合後の成績評価の進め方については既に検討を進めています。西中の保護者の方には1月11日付けのプリント、現在の1年生は統合時に3年生になりますので、懇談会で詳しく説明しています。東中・西中合同で教員が研究授業を共に参観したり、教科ごとに分かれてそれぞれの評価規準や成績材料とする資料について調査検討を行っています。18年度以降は同じ副教材を使用することも検討しています。

その他ご要望

要望	通学安全について住民の意見が十分反映されないまま、万が一不幸にも子どもに事故があった場合、住民感情としてどうかと思う。検討委員会における安全の議論の仕方について委員や教育長に文書で質問した件について後日文書で回答がほしい。
----	---

要 求	西小北側校門付近での増築の提案を行った件について、この案であれば再編統合校が必要とする部屋数を超える部屋数を確保できると考えている。また、小中一貫教育を行うならば小中が隣接しているのがふさわしいと思う。さらに、西小既存校舎と事務局が以前案として示した西中の増築棟を橋でつなげば現実的に小中一貫を子供達に提供できると思う。
説 明	増築の提案について 西北側校門付近は校舎へのメインの入口であり、さらに中庭を経由して校舎に入るとい うアプローチ空間です。西小はこのような中で全体計画が立てられているので、増築ス ペースとしては適さないと判断しています。また、橋をかけることは困難です。

## その他寄せられたご意見について

第6回検討委員会開催後、第7回検討委員会開催までに、前記で紹介した質問2件と、教育委員長あての「若葉台地区小・中学校再編検討委員会の決定の却下を求める署名」の提出があったことが報告され、取扱いを審議しました。署名数は788人、このうち若葉台地区にお住まいの方は313人で、一世帯で複数の方から署名をいただいています。また、説明会における質疑応答に対するご意見が事務局に寄せられましたので、第8回検討委員会で、事務局として個別に回答した内容を報告しました。

## 意見書について

内容としては、ニュースVol. 6に掲載したとおりです。意見書の全文は、教育委員会ホームページ（※ <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>）をご参照ください。

## 検討委員会について

**審議を終了し、意見書が提出されましたので、検討委員会は役割を終え、解散となりました。**  
**これまでご意見・ご協力くださいました、地域、保護者の方々に御礼申し上げます。**  
**今後も、若葉台地区の小中学校について、ご協力くださいますようお願いいたします。**



若葉台地区小・中学校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等は  
 ホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針など：<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・若葉台地区小・中学校再編検討委員会：  
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>

若葉台地区小・中学校再編検討委員会にご意見をいただきありがとうございました。

\*若葉台地区小・中学校校再編検討委員会事務局\*

横浜市教育委員会事務局 学校計画課 F A X : 045-651-1417

Eメール：[ky-wakabadai@city.yokohama.jp](mailto:ky-wakabadai@city.yokohama.jp)

電 話 : 045-671-3252



## ～ 教育委員会からのお知らせ ～

意見書が提出されましたので、再編統合に向けての地域説明会を次のとおり行います。

日時：平成18年3月19日（日）14時～16時まで

場所：若葉台東中学校

内容：検討の経過と開校に向けての今後のスケジュール、再編統合校の教育内容ほか